

14

ミャンマー/ネピドー

総面積：7,054.37km² / 人口：924,608人 /
人口密度：131人 / km²



都市の現状

2006年にヤンゴンから遷都されたミャンマーの首都であり、大統領が直接統治する連邦地域である。計画的に整備された約7千平方キロの広大な地域に国会議事堂をはじめ大統領府や各省庁があり、全ての行政管理を行う。住宅地区、ショッピング地区、レクリエーション地区等も配置され、国際空港も整備されている。

スマートシティ行動計画

ビジョン：気候変動に対する強靱性のある都市、緑豊かで住みやすい持続可能な環境都市、ナレッジハブの中心地、グローバル市場に対応する国際的な航空輸送・物流の拠点、自国のモデル都市として市民に都市インフラや質の高い生活を提供する都市を目指す。

重点分野：住宅と社会インフラ、質の高い環境、整備されたインフラ

Project 1：アフォーダブル及びローコスト住宅プロジェクト

退職政府職員のための中層低価格のアフォーダブル住宅を含め、インフラ設備が整った住宅の建設により、新規アフォーダブル住宅プロジェクトを促進する。

Project 2：国際総合大学

スマートシティ・イニシアティブ・プロジェクトが一部実施されている外交ゾーン付近の250エーカーの土地に、教育拠点として工学部、経営学部、医学部、芸術デザイン学部を擁するミャンマー初の国際大学を建設する。

取組み状況

政府が出資する事業として、様々な階級の政府職員を対象とする住宅76棟の建設を地元企業を対象とした入札で実施している。本事業により、約2,600人の様々な階級の政府職員に住宅供給が可能となる。

整備されたインフラに関しては、道路、水道管路、電気などの基礎インフラが本プロジェクトの一環として整備される。

将来計画

- ・退職政府職員のためのアフォーダブル住宅
- ・スマート街路照明システム
- ・ネピドー都市水道整備にかかるマスタープラン（パウンラウン及びシンセ）
- ・水及び衛生（スマートメーターシステム）
- ・eバスシステム（CO₂排出ゼロ都市）
- ・輸送拠点（旅客及び貨物の航空ハブ）



スマートシティ最高責任者

Mr. Myo Aung / ネピドー開発委員会 事務次官 / Email : myoaung.dda@gmail.com